

マルチレベル治具標準図 NETIS登録 No. TH-020011-A

標準マルチレベル治具取付例

マルチレベル ボトル治具 I
市販のレンチを使用して回すだけで、レベル合わせが極めて高い精度で誰にでも容易に出来ます。

マルチレベル ボトル治具 II
製品の自重を確実に支えることが出来ます。

スライドベース
基礎コンクリート上に設置され、製品の左右移動を可能にします。

プレキャスト製品

基礎コンクリート

マルチレベル工法 適用範囲

ボックスカルバート
L型擁壁
オープン水路
フリューム
L型水路ブロック
ロング側溝
その他プレキャスト製品

※その他特殊な製品についてはお問い合わせ下さい。

※技術の向上に伴い、形状・仕様等を変更する場合があります。

マルチレベル工法—ボルトの仕様例(ボックスカルバート)

幅	高さ	長さ	底版厚	ボルト径 M	規格ボルト長 L	スライドベース厚 T	
1000	1000	2000	125	16	180	6	
1100	1100	2000	125	16		6	
1200	1200	2000	125	16		6	
1300	1300	2000	125	16		6	
1400	1400	2000	150	16		200	6
1500	1500	2000	150	16		6	
1800	1800	2000	160	16	230	6	
2000	2000	2000	150	16	200	6	
2000	2500	2000	200	20	250	6	
2400	2000	2000	180	16	230	6	
2500	2000	2000	180	16	6	6	
2700	1100	2000	200	20	250	6	
3000	1500	2000	250	20	300	6	
3000	2000	1500	250	20	6	6	

※上記と異なる部材厚の断面は別途検討となります。 ※ボルト使用本数 4本/基を標準とします。
※注入モルタル厚は30mmを標準とします。 ※ボルトは全ネジで先立とします。

マルチレベル工法治具規格寸法

	M16	M20	M24	M30
M	16	20	24	30
D	55	55	55	70
T	13	16	19	24
B	70	90	90	100
D1	30	40	40	60
D2	27	36	36	56
H	25	60	60	100
H1	9	16	16	25
H2	16	44	44	75
W	150	150	150	150
t	6	6	4.5	4.5

※M24・30スライドベースは2枚使用し、減摩材を使用します。